

神奈川県立大師高等学校
平成 26 年度 不祥事ゼロプログラム
検 証 結 果

《課題と目標（達成すべき内容）》

	課 題	目 標（達成すべき内容）	検 証
1	個人情報管理の徹底	携帯・電子メール・USB メモリーの適正使用を含め、個人情報流出を未然に防止する。情報セキュリティの対策を行う。	○
2	適正な私費、会計、現金管理	適正な私費の徴収・執行を行う。	○
3	適切な業務執行体制	業務執行体制を整え、不祥事を防止する。	○
4	体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	○
5	セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	○
6	交通事故、公務外非行防止	交通事故を未然に防止する。 公務外の不祥事を未然に防止する。	○

（検証欄：○＝実施）

《実施と検証》

- 1 事故防止全体会議 年間 13 回 （内容：上記項目）
 事故防止全体研修会 年間 4 回 （内容：カリキュラム、私費会計、不祥事防止、人権）

	課 題	検証のまとめ
1	個人情報管理の徹底	学校管理のUSB使用が徹底できた。個人情報の扱いについては全体研修会を行い徹底を図った。
2	適正な私費、会計、現金管理	年2回の監査によって、適正な私費の徴収・執行が行われたことが確認できた。また6月に全体研修会を行い執行手続き等について徹底を図った。
3	適切な業務執行体制	適宜適切な研修を行った。神奈川県教委のガイドラインなどを改めて確認した。入選業務についても、マニュアルの点検を行い、事故防止に努めた。
4	体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導が徹底されるよう研修をおこなった。
5	セクハラ、わいせつ行為の防止	全体会議・研修会において、県からの啓発資料や事例を紹介することで、教育公務員としての自覚を促した。
6	交通事故、公務外飛行防止	研修会において、県からの啓発資料や事例を紹介することで、酒酔い運転・酒気帯び運転を未然に防止するための啓発活動を行った。来年度以降もタイムリーに情報を提供し、引き続き啓発活動を行いたい。